

田辺光彰 略歴

- 1939 神奈川県に生まれる
- 1961 多摩美術大学彫刻科を卒業
- 1962 アメリカの彫刻家イサム・ノグチ (ISAMU NOGUCHI) と出会い、強い影響を受け、以後交流が続く
- 1971~75 南米、ヨーロッパ、アフリカ、中東など50カ国を回り、強く異文化に触れる。特にイタリア・シエナのカンポ広場に衝撃を受け、韓国の文化に深く共感を覚える
- 1976 「山内によする」(16m×7m×2.5m)を横浜に制作
- 1977 混在シリーズを始める
- 1978 東京・ギャラリー・オカベでの初個展が、西ドイツ「DAS KUNSTWERK」誌に紹介される
- 1979 第1回ヘンリー・ムーア大賞展(箱根・彫刻の森美術館)で「混在(あ)」により、ジャコモ・マンズー特別優秀賞受賞
- 1980 第7回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で「混在(内部・あ・外部) 宇部市野外彫刻美術館賞を受賞
個展(ギャラリー・オカベ・東京)
- 1981 第2回ヘンリー・ムーア大賞展で「混在(内部・あ)が優秀賞を受賞
第5回春雷展(横浜市主催)
個展(ギャラリーせいほう・東京)
- 1982~83 佐久市立近代美術館前庭に高さ40mの「さく」を制作
- 1983 よこはまりバーサイドとつかホーム(重度身体障害者療護施設)に「くじゃくの羽に遊ぶこのは」を制作
- 1984 黄河と出会い、深い畏敬の念を覚える また、蘇州の庭園の思想に驚く
個展(つうりすとギャラリー・横浜)
- 1985~87 長さ1 kmの横浜港突堤に3部作から成る「遥かなるもの・横浜」の構想を立て、第一部作「貝」、第二部作「花壇」を制作
- 1985 現代彫刻の歩み一木の造形展に出品(神奈川県民ホール・ギャラリー)
個展(モリス・ギャラリー・東京)
- 1986~87 ソウルオリンピック関連事業として、韓国国立現代美術館(The National Museum of Contemporary Art, The Republic of Korea)に外国人6人の一人として選ばれ、「SEOUL・朶・熱伝導」を制作
- 1987 稲に関する文献の中で野生稲に注目する
横浜馬車道に「日本写真の祖 下岡蓮杖顕彰碑」を制作
横浜市立南戸塚中学校のレリーフ「人間」を制作
- 1987~88 新潟県上越市に「直江津」を制作
- 1988 現代日本彫刻展に「漂う朶」を招待出品
横浜・上総屋本店に「豆・無限」を制作
横浜市に「浮かぶ朶」を制作
個展(ギャラリーせいほう・東京)
- 1990 神奈川県に「波が森になった」及び「芽軸」を制作
- 1991 浙江省博物館(Zhejiang Provincial Museum, China)(7000年前の朶を収蔵)に「MOMI (3)1989」が収蔵、展示される
福島・いわき市の横森製作研究工場に野生稲をテーマとした「MOMI 1991」を制作
- 1992 個展(ギャラリーせいほう、秀友画廊・東京)
田辺の提案で、農学者・佐藤洋一郎氏と野生稲自生地保全の運動を始める
- 1993 静岡県清水市中央図書館に「MOMI (10)1992」が収蔵、展示される
国際稲研究所(International Rice Research Institute, Phillipines)に「MOMI (8)1992」及びドローイングが収蔵、展示される
- 1994 国際稲研究所に招聘され、「MOMI 1994 野生稲の発芽」を制作
「THE SHIMIZU と田辺光彰の世界」展(フェルケール博物館・静岡)が開催される
JAPAN IRRI DAY(日経ホール)に野生稲をテーマとした作品を展示する
中国・河姆渡遺跡博物館(HE MU DU Ruins Museum, China)に「MOMI (6)1992」が収蔵、展示される
タイ王室に「MOMI (7)1992」及びドローイング(長さ9m)が収蔵される
タイ王室による「野生稲保存プロジェクト」(in situ conservation)が発足し、それに参加が決まる
神奈川県立横浜翠嵐高校に「MOMI (2)1994」を制作
- 1995 板付遺跡に「朶 1994」を制作
神奈川県産業技術総合研究所に「MOMI (3)1992」が収蔵、展示される
タイ、ロイヤルプロジェクト観察地点第一号にPrachin Bri(バンコク郊外北東100km)の野生稲自生地2 ha(その後12ha)が決まる
『彫刻家・田辺光彰』(著:竹田直樹)が公人の友社より出版される
個展(ギャラリーせいほう、秀友画廊・東京)
- 1996 東京都・新島に「BIRD - 海浜植物原生地(新島)」を制作
横浜市に「BIRD - 野生植物(日吉)」を制作
タイ国国立 PATHUM THANI RICE RESEARCH CENTER(Department of Agriculture, Thailand)に招聘され、「MOMI 1996 PATHUM THANI」を制作
- 1997 タイ国国立 PATHUM THANI Rice Research Center (DOA)に長さ33mの「MOMI 1997 (WILD RICE)」を制作
青森・五戸大地に「原農耕園」を制作

- 1998 インド国立 Central Rice Research Institute (CRRRI) に「MOMI (4)1992」が収蔵、展示される。
- 1999 アメリカ・メリーランド州立 Eleanor Roosevelt High School に「MOMI 1999」を制作
- 2000 神奈川県立藤野芸術の家の広場に「蜘蛛と玉虫」を制作
大阪法善寺前の上方浮世絵館に「MOMI 2000」(三部作)を制作。さいたま新都心建設省街区に「爬虫類」を制作
- 2001 田辺光彰展(静岡市立登呂博物館主催)
- 2002 インド国立 Central Rice Research Institute (CRRRI) に「MOMI 2000」を制作
国際野生稲会議(International Conference on Wild Rice)(カトマンズ)に招聘され、野生稲自生地保全をテーマとした作品を展示する。そして、作品の中に出席者全員が署名する。
横浜市立下田小学校に「MEKONG RIVER」を制作
静岡大学に3部から成る「UNIVERSITY」の構想を立て、第一部作「野生稲」、第二部作「生物多様性」を制作
- 2003 横浜・広福寺プロジェクトを進める
- 2004 「BIRD - 野生生物」を青森・新郷村に制作
コンスタンチン・ブランクシー(Constantin Brancusi) 奨励賞を受賞
横浜市・松の川緑道に「爬虫類」を制作
オーストラリア・ダーウィンの Window on the Wetland Visitor Center に「MOMI - (9)1992」が収蔵展示される
キューバの Exocuda Exhibition Center に「MOMI-2004」が収蔵展示される
横浜・広福寺に「MOMI-2004」を制作
- 2005 横浜・広福寺に「ムカデ」を制作
個展(秋田県立博物館主催)
- 2006 Adelaide Festival に「MOMI-2006」を出展(The Multicultural Arts Center・オーストラリア)
オーストラリア・Mareeba Wetland に「爬虫類・MOMI-2006」を制作
- 2007 個展(国立台湾美術館主催)
個展(国立台湾大学主催)
横浜・JA タマプラーザ支店に「MOMI-2007」を制作
- 2008 国連・FAO(ローマ)に「A Seed of Wild Rice・MOMI-2008」を制作
- 2009 北極・スヴァールバル全地球種子庫に「The Seed - 2009・IN SITU CONSERVATION」を制作